

## コミュニティ・スクールがスタート

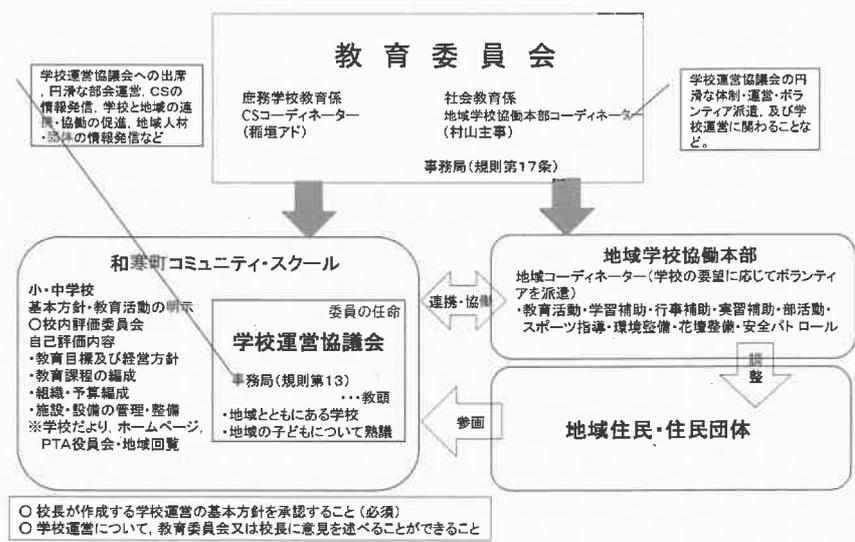
和寒町において、6月1日より和寒小学校、和寒中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが開始されました。

コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」を設置した学校の総称です。急激な少子高齢化、グローバル化の進展に伴い、子どもたちを取り巻く環境は変化し、学校が抱える課題にも複雑化・困難化が見られるようになり、従来のような学校の工夫だけでその改善・克服を委ねることは、もはや困難な状況となっています。そこで求められたのが、地域の力です。地域住民参画による”地域とともにある学校づくり”を通して、学校や子どもへの教育支援を行い課題解決を図っていかこうとするものです。この実現には、組織的、継続的な仕組みが必要となり、その役割を果たすのが「学校運営協議会」となります。

「和寒町コミュニティ・スクールのしくみ」は右の図の通りです。その第1回の学校運営協議会が6月13日に開催され、会議に先駆けて15名の委員一人ひとりに教育長から任命書が交付されました。

その後会議では、規則に基づき役員を選出、そして小中両校の学校運営方針の協議・承認を行いました。

### 和寒町コミュニティ・スクールのしくみ



小学校の今年度の重点目標は、「自ら進んで学び、さらに高め合う子」。具体的な取り組みは④かる授業で確かな学力をつけます、⑤ながりを大切にします、⑥もに豊かな心を育てます、⑦わやかな学校づくりをします、⑧ずかしいことに挑戦する態度を育てますの5点。その中でも、「正しい姿勢で、人の話を最後まで聞く」こと、「進んで家庭学習に取り組む」こと、「自分から明るく、さわやかなあいさつができる」こと、「夢や希望を持ち、目標に向かって努力する」ことに重点的に取り組むこととしています。

一方中学校の今年度の重点目標は、「活動を振り返り、見通しをもって行動する生徒の育成」。具体的な取組は、④かる授業で確かな学力をつけます、⑤ながりを大切にします、⑥

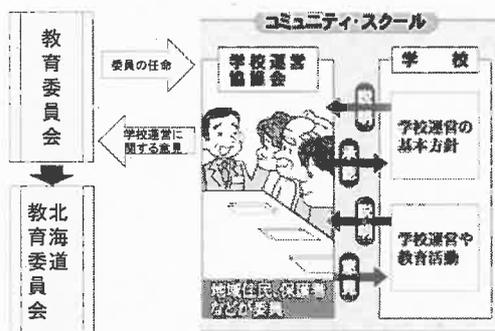
もに豊かな心を育てます、㊦わやかな学校づくりをします、㊧ずかしいことに挑戦する態度を育てますの「わっとさむ30」の実践を指針としています。



加えて、小中学校ともに「笑顔」を共有目標に、児童生徒をサポートしていく「きみの未来サポートプロジェクト」を実施していき、講師を招いた講演や地域学習に積極的に取り組んで行くこととしています。ちなみに、小学校においては5月21日に落語家林家とんでん平さんを迎えての講演会、6月22日には道教育大旭川校の音楽キャラバン隊を迎えて演奏会を実施しています。いずれも、子どもたちが夢や希望をもちサポートしていくための活動として、本物に出会う、本物に触れる、本物を体験することをコンセプトとして展開しています。この後も、折り紙のワークショップや元オリンピック選手の講演等が予定されています。



### 学校運営協議会の役割



学校運営協議会の大きな役割は、①校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること②学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることの2点ですが、その他にも学校評価や学校支援活動、学校や地域課題の解決に向けた協議を進めていきます。そのためには、学校と目指す子ども像の共有がとても重要となります。

これからこの通信を介して、学校運営協議会の活動内容をお知らせしたり、地域の皆様と「地域とともにある学校づくり」を進めていきたいと考えていますのでよろしくお願いたします。

### 【和寒町学校運営協議会委員】



会 長	渡邊道太郎 (小)	副 会 長	山口 貴裕 (中)
小学校部会長	和久 裕也	副部会長	福田 孝夫
部 員	河田 弘康	池澤 浩子	塚崎 知史
			大石 宰 増田 朋未
中学校部会長	乗田 政宜	副部会長	福本 清一
部 員	坪 和美	佐藤 伸二	伊藤裕美子 宮田 新也

小学校部会事務局 林崎 俊一 中学校部会事務局 中間 靖之  
 CSコーディネーター 稲垣 克男 (教育委員会)  
 地域学校協働本部コーディネーター 村山 晴樹 (教育委員会)

※敬称略